

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連携し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 49 2011.5.24 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren.gr.jp

◇全日本民医連理事会 6月以降の支援について確認◇

震災から70日が経過しました。この大震災での死者は1万5千人を超え、今なお行方不明の方が9千人以上、11万人を超える方々が県外を含む避難生活を送っています。さらに福島第一原発による放射能汚染は続いており、県民・国民の中に不安が広がっています。

全日本民医連は震災直後から現地の仲間とともに支援活動にとりくんできました。その素早く早くきめ細かいとりくみは多くの方々が注目し、高い評価を得ています。大いに確信にしていきたいと思います。

今後、仮設住宅の建設や入居が始まる中で、被災地のニーズも変化しています。緊急に行ってきた医療・介護の人的派遣は基本的に5月末で終了し、被災各県連を主体にした長期の支援活動に切り替えていきます。

原発問題では福島民医連を支援し、住民学習会などに積極的に取り組みます。学習教材としてのパンフレットを作成中です。

5月の全日本民医連理事会で、6月以降の支援の取り組みについて確認しました。全文はHPにアップしています。是非ご覧下さい。<http://www.min-iren.gr.jp/html/menu2/2011/20110523173438.html> (対策本部情報)

【抗議声明】福島第一原発事故の収束作業にあたっている労働者の命と健康を軽視する東京電力に断固抗議する

福島第一原発で収束作業にあたる労働者は過酷な環境の中で、必死に作業を続けています。しかし東京電力は内部被曝量の測定もまともに行っておらず、さらに派遣労働者に「今後健康被害が起きても事業者の責任を問わない」旨の「被ばく承諾書」のサインをさせるなど、許し難い実態です。5月21日、標記の抗議声明を発表しました。全文はHPをご覧ください。http://www.min-iren.gr.jp/seimei-kenkai/2011/data/110521_01.pdf (プレスリリース)

動画ニュース 東日本大震災の記録4福島県飯舘村ほか 是非ご覧下さい

HP <http://www.min-iren.gr.jp/html/menu8/2011/20110523130621.html> (動画ニュース)に掲載しています。

原子力発電所に関して福島県民・日本国民の声を届ける署名

福島県民医連が作成した標記署名に全日本民医連も共同で取り組むこととしました。署名用紙を添付します。

【要請項目】

1. 福島原発事故を世界中の力を合わせ一日も早く終わらせて下さい。
2. 福島第1原発・第2原発とも直ちに廃炉にしてください。
3. 国内原発の安全性が完全に確認できない限り、廃炉にしてください。
4. 今後、原発はつくらず、エネルギー政策の転換をはかってください。

【署名送付先】全日本民医連 緊急被曝事故対策本部(事務局:稲原)

=5/28の宮城・なんでも相談会(金土作戦)は、津波で壊滅的な被害を受けた名取地区で行います=

**支援者到達(5月24日現在):2,611人(医師413、薬剤師140、看護師741、技術系535、事務他782)
本日の支援者数は(移動含む)45人。延べ数は12,350人となりました!(岩手、小名浜支援含みます)
支援募金到達:2億5900万円を超えました!**

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。

原子力発電所に関して福島県民・日本国民の声を届ける署名

内閣総理大臣 菅直人殿

東京電力株式会社社長 清水正孝殿

1. 福島原発事故を世界中の力を合わせ一日も早く終わらせてください。
2. 福島第1原発・第2原発とも直ちに廃炉にしてください。
3. 国内原発の安全性が完全に確認出来ない限り、廃炉にしてください。
4. 今後、原発はつくり、エネルギー政策の転換をはかってください。

| 名前 | 住所 | 伝えたい一言 |
|----|----|--------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

(取り扱い団体：福島県民主医療機関連合会・全日本民主医療機関連合会)